



市民行政一体型フェイスブック
「かにすき」
かにすき 100,000

見てね!
可児市ふるさと広報大使 塚本明里さん

イベントや子育て、おすすめスポットなど、市内の最新口コミ情報が満載のページです。

お詫びと訂正

広報かに 8月15日号1ページの写真(左下)説明に誤りがありました。お詫びして訂正します。

☑ 早ヶ丘自治会の可搬ポンプによる消火訓練

☑ 桜ヶ丘自治会の可搬ポンプによる消火訓練

図書館だより

図書館本館 (広見) ☎0111 5120
帷子分館 ☎0111 8530
桜ヶ丘分館 ☎0111 3473

開館時間
本館 火～金 午前10時～午後7時
土日祝 午前10時～午後5時
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

休館日 本館・分館共通
毎週月曜日、30日(金)

臨時休館のお知らせ
9月27日(火)～29日(木)は蔵書点検のため、本館・分館全て休館します。休館中はホームページでの予約受付も停止します。

展示のご案内(本館)
命を守る図書展
～3万分の1の命と向き合う～
期間 9月25日(日)まで

読書会のご案内
本の感想を語り合う、読書サークル協議会

主催の楽しい読書会です。
期日 9月13日(火)
時間 午後1時30分～3時30分
場所 図書館本館
テーマブック 「十二単衣を着た悪魔 源氏物語異聞」 内館牧子/著(幻冬舎文庫)

かにっ子タイム
〇ふくべっこの人形劇
日時 9月17日(土) 午後2時～
場所 図書館本館
演目 3まいのおふだ
上演 ふくべっこのみなさん

新しく入った本
〔一般書〕
「地図がわかれば社会がわかる」 田代博/著(新日本出版社)
「ブラバン甲子園大研究」 梅津有希子/著(文藝春秋)

〔児童書〕
「どうなっているの?だんめん図鑑」 断面マン/製作・監修(小学館)
「百年後、ぼくらはここにいないけど」 長江優子/著(講談社)

広報番組のお知らせ

ケーブルテレビ可児で

いきいきマイタウン

9/3(土)～9(金)

ようこそ!市長室へ

9/10(土)～16(金)

好きなのはカニダー

ふるさと調査官カニダーが、地震から住まいを守る耐震診断について調査します。

9/17(土)～23(金)

簡単!山ごはんレシピ

1・2・3・4で健康づくり

9/24(土)～30(金)

特定健診を受けよう

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・19:00・22:00
土・日曜日 12:00・19:00・22:00

FMららで

可児市役所からこんにちは

9/1(木) 11:20～

ようこそ!市長室へ

9/8(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

9/15(木) 11:20～

アルツハイマー月間

9/22(祝) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

9/29(木) 11:20～

特定健診を受けよう

おはよう可児市役所 月～金曜日 8:00～

発見!可児の魅力 毎週土曜日 10:00～

もう一度確認を!災害時の情報収集

すぐメールかに

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。



「防災無線」電話で確認サービス

専用電話番号 ☎0574(62)1548

防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。

※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。



ようこそ!市長室へ



市民参加で「可児市観光グランドデザイン」をすすめてみましょう

スポンジの刀を手に、はしゃぎまわる子どもたち。私の幼い頃と随分様子は違いますが、楽しいことに変わりはないようです。今年、大人気の「チャンバラ合戦IKUSA」は、可児市に多く残る城跡の歴史を、子どもたちの楽しい思い出とつなげたこの企画です。そして、これも「観光グランドデザイン」に位置付けた事業の一つです。

昨年度1年をかけ、策定委員会をはじめ市民の皆さんと話し合いな



チャンバラ合戦で敵に向かっていく参加者

から「観光グランドデザイン 本編」を策定しました。可児の魅力を引き、市内外に発信する重要施策の一つです。その中で、柱となる7つの地域資源を挙げています。



景観の美しい木曾川左岸遊歩道

濃桃山陶の世界を旅し、本質に触れていたように、旧荒川豊蔵邸周辺の整備や、可児郷土歴史館の改修などを行います。

「II戦国城跡巡り」では、手つかずの城跡が残る可児の歴史を知り興味を抱いてもらうため、ホームページの作成や市民団体と協力して各城跡を活用した地域づくりなども進めます。

「III木曾川左岸・鳩吹山周辺癒しの空間」では、木曾川や鳩吹山周辺の美しい自然で安らぎと癒しを体験できるよう、土田渡の多目的広場の整備や散策コースの設定などを行います。

その他、平成30年春開館予定の可児駅前の子育て支援等拠点施設を中

心とした「IV可児駅前賑わい空間」、四季を通して魅力を持つ公園を目指す「V花フェスタ記念公園」、アーラを中心におしゃれな空間にする「VIアーラエリア」、先月お話しした「VIIゴルフツーリズム」の7つです。この計画の特色は、市民、企業、行政が協働で地域資源の磨き上げを進めていくことであり、観光資源を活用した地域づくりと言えます。

本市には、本物の歴史遺産、本質を究めた奥深い文化芸術、豊かな自然環境など魅力のある資源が数多くあります。子どもたちにこれらを知ってほしい、資源を活用して皆さんに可児で楽しく過ごしてもらいたい、サービス産業を活性化させたい、これらの思いがこの「観光グランドデザイン 本編」には込められています。

10月には山城の魅力を体験していただく「山城に行こうin可児2016」や美濃桃山陶の聖地を感じていただく「第二回随縁に集う」を開催します。ぜひこの機会に参加し、あらためて可児の良さを感じてみてはいかがでしょうか。

市民の皆さんが、市の魅力づくりに参加し、楽しみ、にぎわう。そうした「かに暮らし」を、全国に情報発信していきたいと思えます。

可児市長 高橋 誠